

## CCBJニュースレター 第89号

2021年10月28日

会員の皆様、

先日はCCBJ主催の電気自動車ウェビナーにお集まりくださり、ありがとうございました。ウェビナーではCCBJを代表して村永裕二副代表理事と邑井勇副代表理事も登壇しました。またWEG社のエロイール・パギナン氏にもご参加いただきました。今回のイベントは皆様にブラジルの電気自動車市場に関する知識およびビジネスの可能性への理解を深めていただく機会となりました。

今月号では、晃和コーポレーションの斉藤ネルソン社長にご寄稿いただきました。創業30周年を迎えた同社は、在日ブラジルコミュニティの歴史の一部となっています。晃和コーポレーションの功績に敬意を表するとともに、在日ブラジル人社会のためにも更なるご発展をお祈り申し上げます。

今号にはブラジルの税負担や鋳工業生産、二酸化炭素の排出量削減に関する記事も掲載しましたので、御覧ください。

それではよろしく申し上げます。

CCBJ会頭  
行徳セルソ

(寄稿)

晃和コーポレーション 創立30周年を迎えて

晃和コーポレーション社長

斉藤ネルソン氏

在日ブラジル人コミュニティの30周年に当たる今年、晃和コーポレーションも創立30周年の節目の年を迎えました。様々な困難を乗り越えてここまで辿り着くことができました。

人材派遣会社の晃和コーポレーションは、日本の経済成長に貢献してきました。またブラジル人に対しては、工場での就業機会を提供してきました。

晃和は、起業し成功を手に入れるという夢から生まれました。私はパラ州トメアス市で生まれ、子供の頃から日系ブラジル人社会で生活してきました。学校でも休み時間には日本語で話していたほどでした。

私が初めて仕事に就いたのは12歳の時で、パパイヤを輸出していた会社で商品を梱包する木箱を作るアルバイトでした。新しい自転車を買うためのお金を貯めることが目的でした。

成人後は、ブラジルで銀行や日系企業に勤務していましたが、すべてを捨てて日本に働きに来ることを決心しました。ブラジルでは安定した生活を送っていたので、家族の反対に合いましたが、私には車と家を購入するためのお金と起業資金を貯めるという目標がありました。

日本ではまず派遣会社を通じて電子部品工場に勤めました。その工場には8ヶ月間勤務し、その後、同じ人材派遣会社の総務部に配属されることになりました。仕事に対する責任感と熱心な姿勢やリーダーシップが評価されての抜擢でした。

その派遣会社は複数の分野で展開していた事業に失敗し経営状態が悪化したため、独立して晃和を立ち上げることにしました。開業当初は、バブル崩壊後の不景気のために求人がない状況で、事業を軌道に乗せることができませんでした。そうした中、採算は取れなくても取引先に足を運び続けたことで、景気が回復すると訪問先の企業からお声がかかるようになりました。その後チャンスが訪れるようになり、サービス向上に努めたためたことでお客様の信頼が得られ、事業を拡大することができました。

晃和はチームワークと社員のモチベーションや福利厚生に重きをおいています。こうして会社の誠実さが広く認められるようになり、取引先からの信頼獲得につながりました。

晃和を成功に導いてくださった皆様に感謝申し上げます。

(経済)

## ブラジル電力セクターの税負担

PwCは、ブラジルの電力セクター（発電、変電、配電事業）の7割を占める主要企業40社について、税や各種負担金の納付状況について分析しました。調査対象企業の2020年の営業利

益に占める税金と各種負担金の比率はそれぞれ36.5%と12.6%で、計49.1%に達しています。

詳細はこちら：<https://www.pwc.com.br/pt/estudos/setores-atividade/energia/2021/carga-tributaria-e-encargos-do-setor-eletrico-brasileiro.html>

出所：PwC

\*\*\*\*\*

## 鉱工業生産指数 国内7ヶ所で低下

ブラジル地理統計院（IBGE）が実施した8月の地域別鉱工業部門生産調査（PIM-Regional）によると、調査対象となった国内15ヶ所中7ヶ所で鉱工業生産指数が低下しました。最大の下げ幅を記録したのはペルナンブコ州（マイナス12%）で、国内平均はマイナス0.7%となりました。

新型コロナのパンデミック前（2020年2月）の水準を記録したのは、ミナスジェライス州（10.3%）、サンタカタリーナ州（4.9%）、パラナ州（1.8%）、リオデジャネイロ州（1.4%）、アマゾナス州（1%）、サンパウロ州（0.1%）の7ヶ所でした。

詳細はこちら：<https://agenciadenoticias.ibge.gov.br/agencia-noticias/2012-agencia-de-noticias/noticias/31847-producao-industrial-recua-em-7-dos-15-locais-pesquisados-em-agosto>

出所：IBGE

\*\*\*\*\*

## ブラジルのCO2排出削減目標

ブラジルでは、農牧業分野の二酸化炭素排出低減計画（ABC+）として、2020年から2030年の間にCO2排出量を11億トン削減する目標を掲げています。ABC+計画はABC計画の第二弾で、前回の7倍に匹敵する量のCO2削減を目指すものです。そのほかにも7268万ヘクタールの土地（英国の国土面積の約2倍）への持続可能な生産技術の整備や、2億840万立方メートルの動物系固形不要物処理なども盛り込まれています。2010年から2020年に実施されたABC計画では、当初の予定を46.5%上回る1億7000万トンの二酸化炭素排出削減が実現しました。

詳細はこちら：<https://www.youtube.com/watch?v=rfo4nwQM-5A>

出所：農牧食料供給省